



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
 書記局



11月24日(木)15:30~17:20 第4回検数労連16冬季一時金交渉 両協会、有額回答提示! 日検協会:444,160円+α 全日検 :440,189円+α 要求に対して未達になっていることから、更なる上積み修正を求める。

【日検協会 16 冬季一時金回答】 【全日検 16 冬季一時金回答】

1. 支給額
 (1) 職員、雇員
 (本給 + 家族手当) × 2.00 ヶ月 + 都市加算 + α
 (193,749円 + 8,022円) × 2.00 ヶ月 + 40,618円 + α
 201,771円 + 2.00 ヶ月 = 403,542円
全国平均 444,160円 + α
 (2) 見習員
 {(本給 + 家族手当) × 2.00 ヶ月 + 都市加算 + α} × 0.8 × 在籍日数 / 180日
 2. 支給日 平成 28年 12月 9日
 3. 支給対象者 平成 28年 12月 9日現在、在籍の職員、雇員、見習員
 4. 計算期間 平成 28年 6月 1日より平成 28年 11月 30日までとする。
 5. その他の取扱いは、従来通りとする

1. 支給額
 (1) 算式 (本給 + 役付) × 乗率 + 一律 + α
 職員平均 (201,755) × 1.4 + 157,732円 + α
全国一人平均 440,189円 + α
 ① 一律 = 職員 A 215,000円
 職員 B 150,000円
 ② α = 調整加算
 ③ 特別評価 = 5,000円
 (2) その他身分
 (ア) 準職員 半年未満 全国一律 30,000円
 1年未満 全国一律 60,000円
 10年未満 全国一律 80,000円
 10年以上 全国一律 90,000円
 (イ) 契約雇員 全国一律 140,000円
 2. 支給日 平成 28年 12月 9日 (金)
 ただし、5 銀行営業日前までの妥結意思表明を条件とする。
 3. その他
 (1) 支給日当日の在籍者に対し、平成 28年 12月 1日現在の身分給与により計算し支給する。
 (2) 支給計算期間について
 平成 28年 5月 1日 ~ 平成 28年 10月 31日
 (3) その他の取扱いは、従来通りとする。
 以上

【全日検有額回答提示】
 収支に関する考え方等は、これまでの交渉の中で繰り返し説明してきたが、先般、11月21日~22日にかけて、機関会議

【日検協会有額回答提示】
 有額回答提示にあたって賞与の基準となる平成 28年上期の事業利益は全支部黒字となつたが前期比ではマイナスとなつており、損保業務等の検査業務でマイナス部分をカバーしてきた。
 賞与については生活賃金の一部という労組主張に沿つ形で算式を構築してきたが、額等は利益があつてのことであり、今冬季賞与の回答は最大限努力した回答であることを理解願いたい。

【全日検に対して】
 ① 要求に対して回答が低額であり、不適である。
 ② 『特別評価』については不要であり、原資の全体配分を求めます。

【日検協会に対して】
 ① 都市加算について、労組要求に添じた回答になつており、一定評価できる。
 ② 昨冬比較でマイナス回答となつており、修正を求める。
 ③ 夏比、乗率が0.03ヶ月マイナス回答となつており、修正を求める。
 ④ 昨冬比、夏比での総額が下がっており、上積み修正を求める。

【組合主張】
 組合は両協会から有額回答を受け、その後、アルファ部分の回答を求め対角線交渉に移行しました。
 対角線交渉終了後、休憩をはさみ、両協会から提示された有額回答を分析。
 両協会に対し、次のとおり主張を行い、次回交渉までに修正回答を提示するよう強く求めました。

を行い、一時金回答を構築した。全国的にコンテナや青果、鋼材関係の落ち込みが厳しい状況であるが、一時金対象期間の収支を検討し、総合的に判断し、努力した回答であることを理解願いたい。

次回交渉 第5回検数労連16冬季一時金交渉

11月29日(火)15:30~ 両協会に上積み修正を求めていきます。